



実りの秋 ～豊かな体験活動を通して～

10月も半ばを過ぎ、やっと過ごしやすくなってきました。9月は、熱中症対策として、運動場で遊ぶことも中止にせざるを得ない状況だったので、一安心しています。

さて、何をするにもよい季節です。2学期は、学校を飛び出して、地域の方や施設や店舗などの方々と直接触れあつての学習が各学年で実施されています。学校でも元気な子どもたちですが、外に出での学習は特別なもののようです。より元気でいきいきとした表情で学習する様子が見られます。

現代社会では、昔と違い、インターネットの急速な普及で、家や学校にいながら様々な情報、知識を得ることができます。しかし、体験し、本物に触れることは、パソコンやスマホの画面から得るものとは比較になりません。それは、必要な知識だけでなく、プラスαの得るものがあるからです。

そのプラスαとして大切なのは、人のふれあいです。人と人との関りとも言い換えることができますね。

5年生の稲刈りでは、多くの地域の方々々が活動に参加してくださいました。一緒に稲を刈りながら、きつと言葉を交わした人もいます。このことがきっかけで、道で会

ったときに挨拶や話をする仲になることだってあります。また、3年生が A コープに見学に行きました。説明をしてくれるお店の人はみな、とても親切で、仕事にも関わらず、分かるまで真剣に教えてくれました。自分たちのために、一生懸命になってくれる人の優しさに、子どもたちは気付いたことでしょう。

幼いころからの人との関りが、子どもたちにとってはプラスαの学びになり、それは、「ふるさと」を形作っていくものになっていくのだと思います。

ただ、人とふれあうこと、関りをもつことは、自分がよいと感じることばかりではありません。よいことがあれば、自分にとってよくないことだってあるでしょう。一見、よくないこととして考えてしまいがちですが、関りをよりよくしていくために、互いに考え、行動することを学ぶのは、将来の自分にとってよいことで、必要なこととも言えます。

さて、この校外での学びや地域のみなさんの力を借りての体験活動が、子どもたちにとって、実りがある学びになっていることを望みます。保護者のみなさんにも、たくさんご協力いただいています。ありがとうございます。



通学合宿終了！
新型コロナウイルスにより途切れていた通学合宿が四年ぶりに実施されました。関係の役員の方々には計画・準備と大変でした。また、この行事は多くの協力者が欠かせないことがよくわかりました。おかげで、子どもたちは楽しく過ごすことができました。



生活委員会発表
児童集会で、生活委員会さんが発表しました。今年度は朝からのあいさつ運動にも取り組んでいます。自分たちで学校をよりよくしようとする姿勢に感心しました。



さて、来年度はこの行事がPTAのつながりを深めるものだと考え、日程について検討していくとのこと。今回都合が悪く、参加できなかった方は来年こそ、どうぞご参加ください。楽しい大会ですよ。

この日のため、(延期があったため)、役員のみなさんには大変お世話になりました。おかげさまで、保護者のみなさんに負けないくらい、職員も楽しめました。楽しみすぎて、筋肉痛が数日続いた者もいたほどです。

励ましの声がよく聞こえてきました。保護者同士の絆を目に、耳にすることができました。ついてきていた子どもたちにも、親が楽しんでいる様子がよく伝わったことでしょう。

十月十五日、PTAレクリエーション大会。盛り上がりましたね。表彰で言いましたが、みなさん、この日はやはり自分の年齢を忘れ、子どものように、きらきら光る笑顔で、ドッジビーを楽しんでいらつしやいました。試合前に、チームで円陣を組んで気合を入れるチームがありました。試合中、応援の声やドーンマイ！という



★百年杉★
くたかにし応援団